

PRIME主催研究会

西サハラ問題とは何か

自由・独立・民族自決の意義を考える

1975年にモロッコに軍事侵攻され、未だにその占領下に置かれている西サハラ。「アフリカ最後の植民地」と言われる現地はいま、どんな状況なのか？西サハラ出身の政治アナリスト・活動家をお迎えして、占領下の現状と今後への見通しを語り、自由・独立、民族自決権の意義を共に考える。

2025年 11月19日(水)

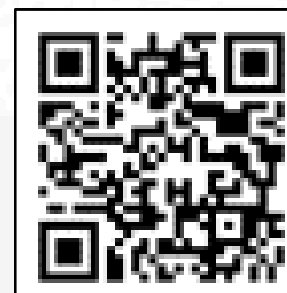
時間**18時30分～20時30分****会場****明治学院大学白金キャンパス
本館 2階1254教室**

* 通訳あり／参加費無料／事前申込不要

* 学内外どなたでもご参加いただけます

※横浜キャンパスではありませんのでご注意ください。

※キャンパスまでのアクセスは下のQRコードからご確認ください。

**講師****ターレブ・アリー・サーレムさん**

サハラウィ活動家、西サハラ・アフリカ・中東問題政治アナリスト。1992年6月、アルジェリア・チンドゥーフ近郊サハラウィ難民キャンプ生まれ、2003年からスペインに移住。

国連非植民地化特別委員会をはじめとする国際機関の会議で意見陳述を行い、英国・ドイツ・スイスなど各国議会や欧州の大学で講演を実施。また、TVE、France24などの国際メディア出演や寄稿を通じて、西サハラ問題や人権課題について発信している。

**主催・お問い合わせ：明治学院大学国際平和研究所(PRIME)**

■TEL：03-5421-5652 ■FAX：03-5421-5653 ■E-MAIL：prime@prime.meijigakuin.ac.jp

■URL：<https://prime1986.meijigakuin.ac.jp/>**後援：西サハラ友の会**